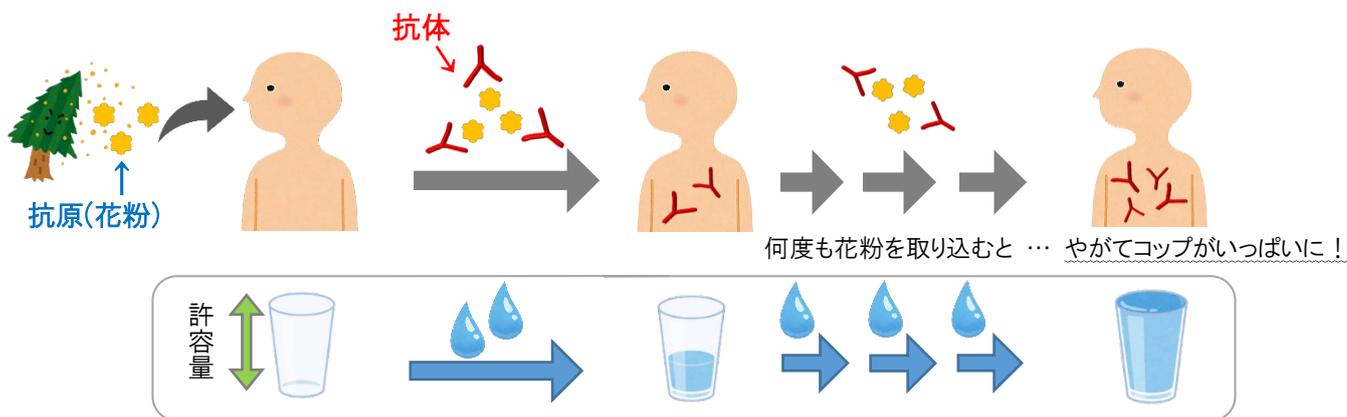




免疫のお話 『花粉症』 編

なぜ花粉症になるの？

抗原(花粉)が体に入ると、免疫反応により花粉に対する抗体が作られます。抗体を「コップにたまる水」に例えると、花粉症になるまでを“アレルギーコップ説”という考え方で説明することができます。人はそれぞれ許容量の決まったコップを持っていて、花粉を取り込むたびにコップに水がたまっていきます。



コップがいっぱいになり水があふれた時、花粉症になります。体質や生活環境、食生活、ストレスなどによりコップの大きさに個人差があるので、水がたまるまでの期間は人それぞれです。そのため、**今花粉症でない人でも、コップの中身が増えていけば、いつか水があふれ花粉症になる可能性があります・・・**



花粉症のお薬

花粉症のお薬は、**予防的に使用する薬**や**症状がひどくなった時にすぐに抑えてくれる薬**など、色々な種類があり、薬局やドラッグストアでも買うことができます。自分にはどのような薬が合うのか、相談薬局あるいは出張相談会で薬剤師に相談してみましょう。市販薬でも症状が治まらない場合は、病院を受診しましょう。



《 一出張相談会 — 保健室に薬剤師が来ます 》
 おくすりナビ、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで！
 1月22日 午後4時00分～4時30分

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授 (薬剤師) 大柳賀津夫
 北陸大学薬学部薬学科5年生 喜友名侑舞・仲田里穂